

はじめに

マニュアル中の用語の定義と略称

I. 集約放牧の考え方

II. 集約放牧の事例

1. 既存放牧から集約放牧へのステップアップ
2. 舎飼いから集約放牧への転換
3. 放牧飼養を目指した新規就農
4. トウモロコシサイレージを利用した
畑地型集約放牧

III. 集約放牧への転換に必要な技術と初期投資

1. 放牧草地の準備
 - 1) 放牧草地の植生改善
 - ①草種別の特性、栽培・利用法
 - ②更新法別の植生改善
 - ③草種別の植生改善事例
 - 2) 放牧草地の維持・管理法
 - ①草種を異にする草地の組み合わせ利用法
(MFとTY)
 - ②短草利用のための早期放牧開始の重要性
 - ③掃除刈り
 - ④施肥管理法
 - 3) 放牧地の効率的利用法
 - ①放牧時間別の必要面積
 - ②放牧採草兼用地の利用
 - ③先行後追放牧の活用
 - ④牧区管理表の意義
 - ⑤乳量水準と放牧方式
 - 4) 放牧関連施設の導入と設置
 - ①牧区レイアウト
 - ②通路の整備
 - ③水槽の設置（泥濘化防止と設置位置）
 - ④その他（飼料併給施設、庇陰林）

2. 放牧家畜の準備と飼養

- 1) 乳牛の放牧への馴致法
 - ①放牧未経験牛の馴致
 - ②早春・晩秋の馴致方法
 - ③放牧育成の導入
- 2) 草地と放牧牛のモニタリング
 - ①放牧草地からの判断
 - ②放牧牛の状態から判断
 - ③放牧牛の行動から判断
- 3) 放牧時の併給飼料給与
 - ①放牧草の栄養価
 - ②食草量
 - ③エネルギーとタンパク質の
採食バランスが悪い場合
- 4) 繁殖管理
3. 新たな投資の準備
 - 1) 放牧地整備に必要な項目と費用
 - ①植生の改善
 - ②牧柵の設置
 - ③水槽の設置
 - ④通路の整備
 - 2) 放牧牛の管理にかかる費用
 - ①繁殖管理
 - ②待機場所の整備
 - ③併給飼料給餌施設

IV. 集約放牧で期待される経済効果

1. 放牧と舎飼との経営効果の比較
2. 転換事例の経営安定までに要する期間

V. 放牧の家畜福祉効果

VI. 放牧を活かした新しい試み

1. 放牧牛乳の特徴
2. 放牧乳を原料とする乳製品の特徴